

報告

2017年度 第1回 通常総会・公開講座

2017年5月28日(日)、広島県健康福祉センターにて2017年度 第1回 通常総会を開催しました。議長には高垣恵美子会員が選出され、正会員952名のうち出席者62名、委任状による出席453名で定款に定める過半数の出席により総会は成立したことが事務局より報告がありました。

第1号・第2号の2017年事業計画及び予算についての報告が行われた後、第1号議案2016年度事業報告、第2号議案2016年度決算報告、第3号議案役員選任について審議され、それぞれ承認されました。

事業報告については各委員会及び各支部から活動報告がありました。その後の決算報告については、事務局が収支のバランスを意識した運営報告がありました。また、役員改選について、選挙管理委員の牧洋至委員長より説明があり、理事の立候補が定款上に定める定数内であることの報告があり、役員選任案が承認されました。その後、新理事が別室にて理事会を開催し、新会長に山中康平氏、副会長に廣森明子氏、平岡和子氏、赤山、相談役に河口幸貴氏が就任することが会長から報告がありました。

総会後の公開講座では、「各分野からの動向説明と本会活動から」と題して、司法福祉、ホームレス支援・生活困窮者支援、介護予防日常生活支援総合事業、成年後見制度利用促進基本計画、児

童分野の順に各分野からリレー報告がありました。

まず、田中洋子相談役より「司法と福祉の入り口」について、つぎに鈴川千賀子会員より「ホームレス支援の現状」について、続いて赤山より「介護予防日常生活支援総合事業」について、河口幸貴相談役より「成年後見制度利用促進基本計画」について、酒井珠江前副会長より「新たな子ども家庭福祉と虐待予防の方向性」についてそれぞれ報告がありました。

どの分野も県民の福祉の向上には欠かせない分野であることが改めて認識することができたと同時に当会としても多分野で活動する社会福祉士を支援していく必要があると感じた公開講座でした。



公益社団法人広島県社会福祉士会

副会長 赤山 亮

次号、会員便りは8月に発行予定です。

6月号

報告 2017年度 第1回通常総会・公開講座 / 役員就任のご挨拶 / 社会課題解決プロジェクト募金のお礼と活動報告 / 司法福祉委員会より委員募集のお知らせ / 研修イベント情報 / 編集後記

会長就任のご挨拶

山中 康平（東支部 社会福祉法人新生福祉会）



公益社団法人として社会に認知された団体として運営体制の充実を行い、本会の活動基盤である委員会を総務系・活動系・事業系と分類し、業務執行理事の所管と事業展開の連動に取り組みたいと思います。また、委員会活動の活性化や新たな委員会の創設などを通じて、新たに発生する社会課題や県民のニーズに応えるため、各関係機関との連携、公益活動の展開などを通じて会員の参加の機会の拡充に努めます。最後に当会の事業展開のために会員の皆さまの参加が必要不可欠ですので、まず支部活動から参加いただければと思います。

副会長就任のご挨拶

平岡 和子（北支部 平岡社会福祉士事務所）



様々な分野で社会福祉士が必要とされています。それに伴い、専門性も求められるようになりました。一人一人の社会福祉士の力は小さいかもしれませんが、その小さな取り組みからいろいろな変化が生まれると信じています。前期2年間に副会長として務めさせていただきましたが、一理事以上に会全体のことを見渡していく必要があることを実感しています。会員の皆さんが「やっぱり社会福祉士会に入っていて良かった！」と思えるような組織となるよう、山中新会長を中心に取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

廣森 明子（中・南支部 呉市天応・吉浦地域包括支援センター）



これまでは主に成年後見に関わるばあとなあひろしま運営委員長として会の活動に参画してきましたが、この度副会長を務めることとなり、より一層社会福祉の動向全般に目を向け、会の運営に携わっていききたいと思います。昨今では社会福祉の専門家としてあらゆる分野で期待され、求められています。専門性を高め、皆様が円滑に活動できるように、また、会員の皆様にとって有益な会となるように、微力ではありますが新会長のもとで尽力していきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

【中南支部長】

支部会員同士がつながる場として研修、交流の機会を設けています。地域の中の自分と違う分野で活動している会員との交流は学びも多くあります。是非ご参加いただき、ネットワークを広げましょう。

赤山 亮（東支部 医療法人健応会福山リハビリテーション病院）



現在は MSW として医療機関に勤務しております。私が働く医療分野においても地域包括ケア推進が非常に強く求められており、社会福祉士の活躍するフィールドも年々幅広くなっていることと同時に求められる専門性も高くなってきていると感じています。このような現状から考えると当会は地域で活躍する社会福祉士のバックアップや専門性の向上へ向けた活動の推進が必要であり、今後も引き続き行っていきたいと思っています。微力ではありますが、全力を尽くして参りたいと考えておりますので、会員の皆様方のご支援とご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

【東支部長】

東支部では皆様のお力添えを頂きながら引き続き顔の見える支部づくりを目指していきたくと思っています。皆様方のご支援とご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

理事就任のご挨拶

田中 聡子 (東支部 県立広島大学)



地域福祉、特に生活困難を抱える世帯が包摂されるためのミクロの支援、メゾのシステムへのアプローチ、マクロの政策が縦断的につながるための研究をしています。昨今、高齢者だけでなく、児童、障害、低所得層へ「地域福祉」をキーワードに対策が講じられつつあります。一方、地域は人口減少、高齢化、都市との格差等の社会的課題を抱え、福祉的対応が可能なのかという問いも表出しています。大学と社会福祉士会の橋渡しになり、実践力のある将来の社会福祉士の養成にも力を注ぎ会の発展のために貢献したいと思っています。

巴 直樹 (東支部 社会福祉法人新市福祉会)



近年、社会における生活課題の、多様化、複雑化、複合化、深刻化により、従来の支援では解決緩和が不可能なものが増加しており、その対応の仕方や在り方についても、多角化、多元化、総合化が求められるようになっていきます。多くの方々との繋がり、そして教えを頂きながら、また自ら学んでゆくなかで、「社会福祉士としての在り方」について探究し、広島県社会福祉士会における実践者として貢献してゆきたいと思っています。よろしくお願い致します。

長谷川 佳子 (東支部 福山市北部地域包括支援サブセンター 駅家)



今期、理事を務めさせていただきます。現在は福山市の地域包括支援センターに勤務しております。近年、社会福祉士が果たす役割や期待が大きくなっていると感じます。それに応えるべく私達は個人の能力を高めソーシャルワークの実践を行っていくとともに職能団体としても専門性が担保された組織づくりが大切だと感じます。理事として、会員の皆様の声に耳を傾け、繋がりを持って、入会してよかったと思える様、微力ですがお手伝いが出来ればと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

印藤 牧絵 (西支部 広島文教女子大学)



この度、初めて理事を務めることとなりました。まだまだ未熟で皆様のご指導をいただきながら、できることを精一杯させていただきたいと思っています。現在は、社会福祉士の養成に携わっています。また、広島県社会福祉士会の活動では、「権利擁護センターぱあとなあひろしま」の運営委員をさせていただいております。社会福祉士会に入会し、様々な社会福祉士の皆様とお会いできたことが今の自分の財産だと思っています。これからもよろしくお願い致します。

江口 洋子 (西支部 広島市牛田早稲田地域包括支援センター)



私は、平成20年9月に横浜市から広島市中区に転居してきました。夏季休暇になると息子夫婦や娘夫婦が交代で広島に遊びに来てくれますので、『お好み焼き』でもてなすことが我が家の定番になっています。ホームレス支援委員会に所属し、くつろぎ入浴サービスや昼食・相談会のお手伝いをさせて頂いて来ましたが、理事として委員会活動のほか、広島県社会福祉士会の果たされる社会的な役割にも微力ながら自分に出来ることは積極的に働かせて頂きたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

徳永 文 (西支部 医療法人社団更生会)



私は、就労移行支援事業所ワークネクストに勤務しており、職業指導員として精神障害者の就労支援に携わっています。社会福祉士の資格を取得する前から、支部の定例会に参加させてもらったのをきっかけに、会の活動に関心をもっていました。現在は、認定社会福祉士を目指し自己研鑽を積んでいます。会の活動は、様々な分野で活躍されている会員の方々とつながりをもつことができ、日々のソーシャルワーク実践に活かすことができます。そうしたつながりを大切に、会の活動を広めていきたいと思っています。

中村 真和 (西支部 社会福祉法人廿日市市社会福祉協議会)



廿日市市社会福祉協議会事務局に勤務して15年になり、この間、廿日市市旧5市町村のうち、4つの地域に勤務させていただきました。地域の皆様とそこで働く専門職諸先輩方に出会うことができ、広い地域性と専門性に触れることで多くの学びを頂きました。これから、会の運営に少しでも役立てるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

【西支部長】

この度、西支部長を務めさせていただくことになりました。「こんな社会福祉活動をしてみたい」を共有し、活動として形にしていけたらと思っています。よろしくお願いいたします。

島山 京子 (西支部 広島都市学園大学)



「第三者評価委員会」を担当させて頂いています。広島県社会福祉士会は、第三者評価機関として「広島県福祉サービス第三者評価推進委員会」の認証を受け、評価活動を行っています。

社会的養護関係施設の受審義務化、保育所の受審努力義務化が行われており、「第三者評価委員会」における評価調査者の資質向上、委員会の一層の体制整備と強化に微力ですが努めて参りたく存じます。よろしくお願い申し上げます。

藤原 久禮 (西支部 トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校)



山口、大阪、秋田を転々として、2012年に広島県にきました。広島県に来る前はどの県でも社会福祉士の活動にも研修にも参加しない、年会費だけを納め続ける立派な名簿会員を務めてきました。3年間の基礎研修で顔馴染みも増え、今年度から調査研究委員会の委員長と西支部会の副支部長を拝命いたしました。皆様からたくさんのご意見をいただきながら、参加型の委員会と支部会になれるよう心掛けていきたいと思っています。皆様よろしくお願いいたします。

松谷 恵子 (西支部 まつたに社会福祉士事務所)



独立型社会福祉士として5年半活動させていただき、人の生きづらさや生活が困難になる状況が生み出される背景には、様々な要因や事象が複雑に絡み合っていることを実感しています。こうした複雑な背景に迫る中で、社会福祉士が果たすべき専門職としての役割はとても重たいものとなっています。そうした中で日々活動する会員の皆さまがより一層専門性を発揮できるよう、そうした活動が県民の福祉につながるよう、微力ながら理事として力を尽くしたいと存じます。なにとぞよろしくお願いいたします。

三上 和彦 (西支部 社会福祉法人 F I G 福祉会)



社会福祉士は本当に多くの分野で活躍が期待されております。私は高齢者施設に勤務しておりますが、社会福祉法人の職員として地域資源開発や調整にも微力ながら携わっています。活動を通じて考えさせられるのは、社会福祉士に対して専門性の向上が更に求められているということです。自らの専門分野のみならず幅広く知識を習得し、啓発活動も含めた実践的な活動を行う必要性を強く感じます。

この度、理事に就任させて頂くに当たり、身が引き締まる思いと共に、私自身精進していく決意を新たに持ちました。皆様、どうぞ宜しくお願い致します。

駄賀 健治 (中・南支部 医療法人社団中川会)



福祉の制度も現場もめまぐるしく変化しており、社会福祉士に求められているものも多岐にわたっております。組織をあげて知恵を出し合い変化に対応していくことも大切ですが、福祉の原点を忘れないで活動をしていきたいと思っております。

理事就任にあたり、社会福祉士の倫理綱領を読みかえました。福祉の制度や対象者が変わっても、我々の基本となる考え方は常にこの中にあると再確認しました。利用者の思いや利益を最優先にした上で、専門性を持った活動を展開していきたいと考えております。

原本 一 (中・南支部 社会福祉法人愛栄会)



初めまして。所属は呉市のケアハウス花みずきに施設長として勤務しています。「権利擁護センターぱあとあひろしま」の業務に従事させていただいた事をきっかけに、社会福祉士会の活動に関心を抱き、沢山の出会いと学びの機会を得ることができました。

これからは社会福祉士会の魅力を会員の皆様に発信できるよう、明るく楽しく誠実に会の運営に邁進したいと思いますので、宜しくお願い致します。また、司法福祉委員会の活動におきましても、ご支援とご協力お願い致します。

藤尾 正彦 (北支部 社会福祉法人庄原市社会福祉協議会)



あっという間に2期(4年)が過ぎ、3期目になりました。その間、基礎研修において地域福祉活動分野の講義をする機会をいただき、様々な分野の方々と“つながり”、日々の業務について振り返ることができました。社会福祉士に限らず、福祉専門職の生涯研修は相談援助技術の向上、社会福祉制度の改正や新制度の創設などに対応するために大切と感じています。

引き続き、会員相互の交流や当会の運営に尽力したいと思います。よろしくお願いします。

【北支部長】

このたび、前支部長・平岡さんからバトンタッチされました。北支部、約60名の“顔の分かる”関係づくりと新規加入いただける環境づくりに取り組んでいきます。よろしくお願いします。



外部理事就任のご挨拶

岡本 倫明 (広島総合法律会計事務所)



公益法人の監事の就任は経験がありましたが、理事の就任は初めてとなります。社会福祉に対する高いレベルの国民要求はますます上昇し、それとともに社会福祉士への期待値もますます高まるものと思います。本業は、広島市中区にある広島総合法律会計事務所の会計部門のパートナーをしております。会計面でのバックアップを期待されての就任要請と認識しておりますので、その面でも微力ながら役割をまっとうしたいと思います。よろしくお願いします。

坂下 宗生 (坂下法律事務所)



弁護士と社会福祉士は、この世に不幸や困りごとがあつて初めて成り立つ仕事であるという点において、いずれも「罪深い」職業ではないかと思っています。だからこそ、その志と技術においてプロフェッショナルであることが求められるのでしょう。

同じプロフェッショナルとして、社会福祉士の皆様の様々な活動に少しでもお役に立ち、同時に、皆様から学ばせていただければと思っています。よろしくお願いします。

監事就任のご挨拶

竹村 秀博 (司法書士竹村秀博事務所)



外部監事として3期目となりました。今期におきましても理事会及び会運営の適正がはかられますよう努力し、またお役に立ちたいと思っております。

まだまだ、社会福祉士の皆様の役割や活動について知らないことが多いと感じておりますし、そうした勉強もしたいと思っております。よろしくお願いします。

竹本 了 (有限会社メディカルサービス廿日市)



この度、はじめて監事を務めさせていただくことになりました。法人の目的である「社会福祉の援助を必要とする広島県民の生活と権利を擁護し、その知識及び技術の普及・啓発を行うとともに、地域福祉サービスの推進と発展を図り、広島県内における社会福祉の増進に寄与すること」を念頭に社会福祉の援助を必要とする人々の生活と権利を擁護、支援する事業が遂行していけるよう、監事として精一杯努めてまいりたいと思います。宜しくお願い致します。

事務局長就任のご挨拶

河合 知義



小西さんの後を受け、事務局長を担当することとなりました。これまでは横で文句を言っておればよかったのですが、知ってみれば課題だらけ…。前任の小西さんや前々任の保井さんはよく頑張っておられたんだなあと感じています。崩れつつあるこの国の社会福祉を作り直すために、また会員の1000名突破を一日でも早く実現するために、会長をはじめずいぶんと若返った理事さんたちを追っかけるのはとても無理ですが、具体的な課題をもって働いていけたらと願っています。

【相談役について】

今回、相談役として就任されました 5 名の方（岡崎仁史さま・田中洋子さま・小山峰志さま・中島康晴さま・河口幸貴さま）に関しましては次号にてご紹介をさせていただきます。

平成 29 年度共同募金 社会課題解決プロジェクト



～募金の御礼と昨年度実施事業のご報告～

（平成 29 年 1 月～3 月受付）

募金総額 **867,269 円**（マッチングギフト含む）

この募金は『すべての障害児者と市民を結ぶひろしま県民会議』が実施する事業に充てさせていただきます。この事業は、県内の学校等へ出向き、障害児者の理解や必要な配慮について伝えることを目的としています。本会は『すべての障害児者と市民を結ぶひろしま県民会議』の事務局を担当し、学校等からの要請に応じ、講師となる障害当事者等の調整やその他の事務を担っています。

期間中、会員の皆さまをはじめ、多くの関係者の方々から募金いただきました。募金してくださった皆さま、募金の協力を呼び掛けてくださった皆さま、本当にありがとうございました。

☆ 昨年度の出前講座の様子 ～本会ホームページでもお伝えしています～ ☆

◆広島市立志屋小学校◆

耳が不自由な人の中には、聞こえない、聞こえにくい人がいること。コミュニケーションには、いろいろな方法があること。また、生活するうえで工夫されていることなどを教えてもらいました。自分の名前や挨拶など、いろいろな手話を教えてもらいました。



小さなもみじの手は一生懸命 ありがとう！の手話

◆広島市立湯来西小学校◆

見やすい、見えにくい、点字ブロックや白杖などについて勉強しました。先が細くなっている筒を目にあてて、視野狭窄の体験をしました。体験してみると、障害のある人の気持ちがよくわかります。僕たち私たちにできることは何だろう？ 体験して感じたことなども発表してもらいました。



報告：すべての障害児者と市民を結ぶひろしま県民会議事務局 平岡 和子



司法福祉委員会より委員募集のお知らせ

～ 今年度、新しくできた委員会です ～



司法福祉委員会より会員の皆様に、司法福祉委員募集のお知らせを致します。今年度より、司法福祉委員会の活動を始動致します。私は委員長の原本一（はらもと はじめ）と申します。

司法福祉委員会の活動の目的は、司法福祉の今日的課題の研究及び人材育成、社会福祉士会主催の司法福祉研修の運営、広島県地域生活定着支援センターとの連携です。司法福祉委員会の活動を広く知っていただく為に、活動を共にしていく委員の力が必要であります。

司法福祉領域の業務を経験されている方、関心を持っておられる方、委員として一緒に運営していきませんか。お問い合わせは、広島県社会福祉士会事務局へ、平成 29 年 7 月 20 日（木）までお願い致します。なお、多数の応募がありましたら、協議による選考とさせていただきます。

研修・イベント情報

✿ 西支部研修会

テーマ 北広島町における社会福祉実戦報告
から学ぶ「地域性と専門性」

日 時 平成 29 年 8 月 6 日（日）
13:30～15:30

場 所 北広島町千代田中央公民館大会議室
広島県山県郡北広島町有田 1220-1

連絡先 Tel 0826-72-2249
※中央公民館の電話番号です。

定 員 30 名

参加費 無料

主 催 広島県社会福祉士会 西支部

申込み 西支部長 中村

(kaeusa0.v.0@gmail.com)

✿ 中・南支部研修会

テーマ 高次脳機能障害者 支援の視点
家族会の役割と

日 時 平成 29 年 9 月 23 日（土）
それを支える社会福祉士
14:00～16:00

場 所 東広島市「くらら」

定 員 40 名

参加料 会員 無料

非会員 500 円

主 催 広島県社会福祉士会 中・南支部

編集後記

★委員長交代となりました☆会の活動を通して多くのことを学ぶことができました！ありがとうございました。2017 残すところ半年。日々精進です。（幸本）★地域で行われている○○○カフェ、地域づくりの原点だなと感じている今日この頃。（藤谷）★運動不足が深刻で、自分の健康寿命が不安で仕方ありません(笑)。まずは散歩から始めてみようかな…。（酒井）★もうすぐ元号が変わるのですね。西暦は便利だけど元号には馴染みがあります。私は昭和生まれ。（坂本）★また、田植えの季節になりました。わずかしかな手伝っていないのに筋肉痛になりましたが収穫の秋を楽しみにしています。（山根）★昔から国語が大の苦手という私が広報委員に入り、そして委員長を務めることとなりました（汗）。よろしくお願いします。（巴）

